

TKC会員事務所向け「東京信用保証協会セミナー」  
～最も有利な制度を関与先企業へ提案するために～ を開催しました。

平成29年10月27日（金）於：TKC東京本社

平成29年10月27日（金）、TKC東京本社研修室において、TKC会員事務所向け「東京信用保証協会セミナー」を開催しました。  
東京5地域会では、これまで東京信用保証協会と情報交換会等を実施し、連携を重ねました。昨年に続き、東京信用保証協会をお招きし、保証協会が実施する経営支援業務、保証制度について解説いただき、当日は会員・職員83名の参加がありました。

TKC全国会 副会長  
松本 憲二

## 1. 東京信用保証協会のご利用について

- (1) 信用保証協会の役割と経営支援の取り組みについて
- (2) 保証審査のポイントおよび保証実行までの流れ
  - ・保証審査にあたっての6項目とは
  - ・プロパー支援状況
- (3) 様々な保証商品と利用の仕方  
～最も有利な制度を関与先企業へ提案するために～
- (4) 保証協会の主な経営支援
  - ① 経営サポート会議 ② 専門家派遣

東京信用保証協会  
経営支援部  
副部長  
星 正人氏東京信用保証協会  
経営支援部経営支援課  
上席課長代理  
三橋 勝氏東京信用保証協会  
経営支援部経営支援課  
上席課長代理  
大野 哲也氏

## 2. TKC全国会中小企業支援委員会からのご案内

TKC会員事務所が取り組む「早期経営改善計画策定支援」と「ローカルベンチマーク」

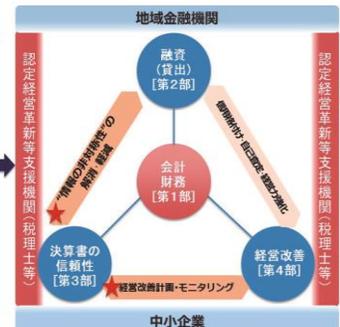
会計事務所において近い将来、AIやIT等のテクノロジーの進展により、記帳代行や決算申告業務の比重は減ってくるのは間違いありません。そうなったときに、いまよりさらに増やしていかなければならない業務は、「経営支援業務」と「決算書の保証業務」です。現在、**税理士と地域金融機関が連携して中小企業を支援していくという国の施策は会計人にとって追い風**です。今回の早期改善計画策定支援は、金融機関との経営支援業務を事務所経営の柱にするための**大きなチャンスと捉えて積極的に実践していくことが今後の事務所発展の大きなターニングポイント**になると考えています。

TKC東京都心会  
中小企業支援委員会  
委員長 鈴木信二TKC東京都心会  
会長 大石尚彦

TKC全国会坂本孝司会長は、中小企業金融において、「情報の非対称性」を解消するために、「会計」を活用すべきと述べています。この垣根を取り払うのが、「TKCモニタリング情報サービス」です。**中小会計要領及び書面添付を推進し、信頼性の高い決算書を金融機関に提供することで、相互の信頼関係を構築していく必要があります。**ぜひ、そのことを**事務所主催の経営支援セミナーで関与先を啓蒙して欲しい**と考えています。

“中小企業金融の健全化”のため、固有の目的を持つ各要素の再構成が必要

- ◆ 会計
- ◆ 財務管理
- ◆ 税理士(税務・会計・保証・経営助言業務)
- ◆ 認定経営革新等支援機関
- ◆ 融資(貸出)
- ◆ 信用格付・自己査定
- ◆ 決算書の信頼性
- ◆ 経営改善
- ◆ モニタリング



出所：坂本孝司・加藤憲一郎「中小企業金融における会計の役割」中央経済社、2017年、2頁

## ご参加いただいた方の声

- ✓ 今後もこのようなセミナーを開催して欲しい。
- ✓ 今さら聞けない信用保証制度の仕組みがよくわかりました。
- ✓ 保証協会にも多様な制度があることを知らなかった。
- ✓ 保証審査のポイントがよくわかりました。
- ✓ 中小企業経営者は、経営相談の相手として税理士を頼っていることをあらためて知らされました。

